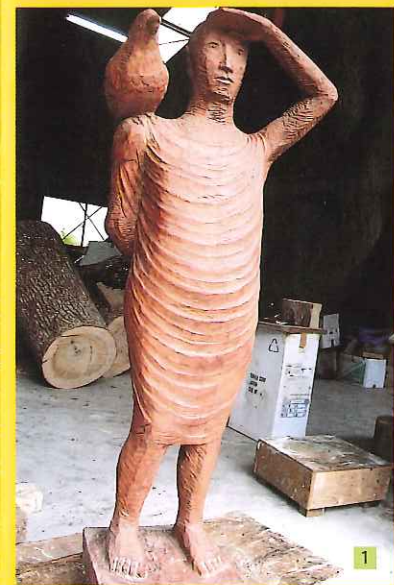


第5回 燈花と芸術の森作品展

平成24年
8月5日(日)-8月14日(火)



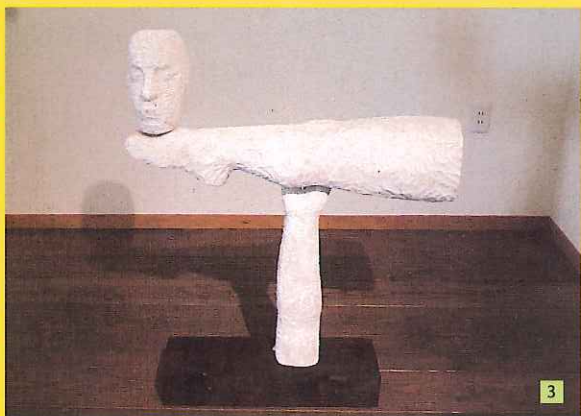
49



1



2



3



6



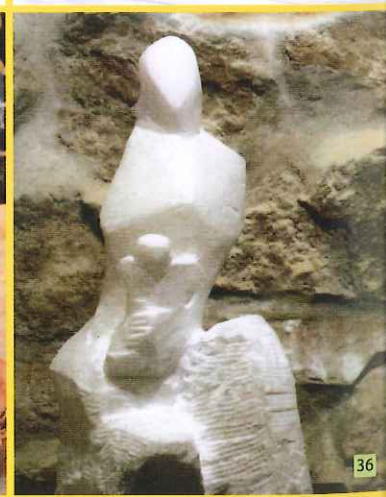
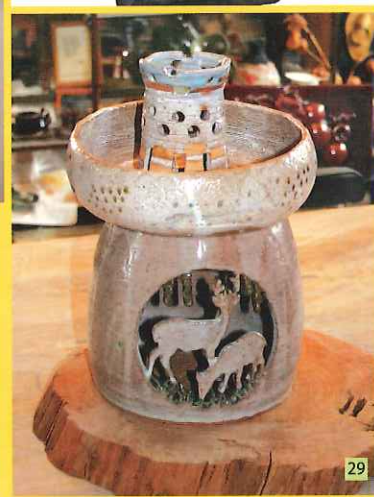
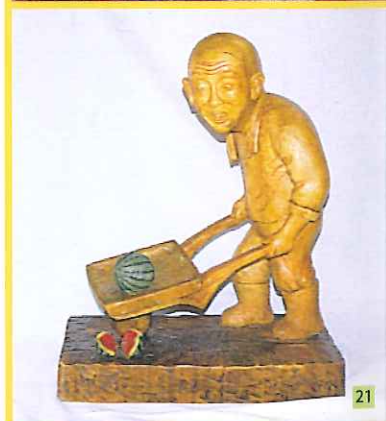
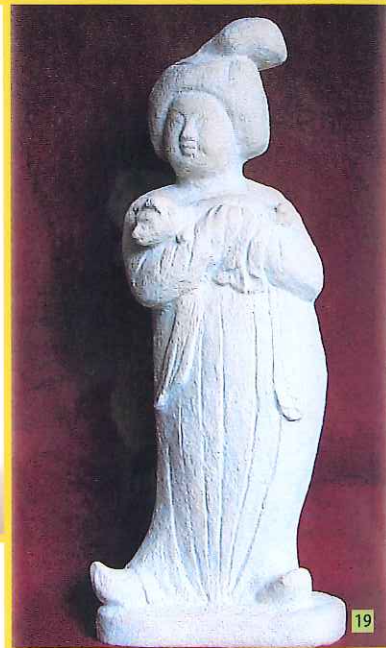
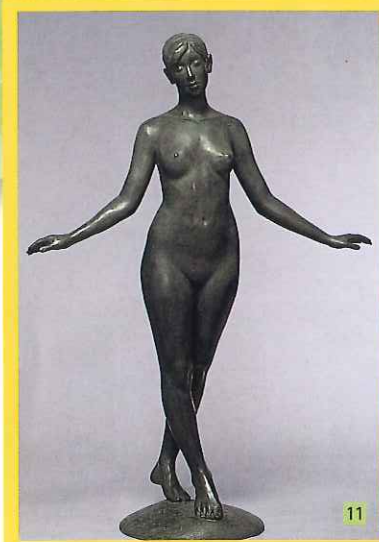
7



8



4



- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 小川 清彦 | 8. 岡村 三郎 | 17. 笠井 文夫 |
| 2. 表 啓充 | 10. 田村 晴江 | 18. 福呂 当起 |
| 3. 堀 信二 | 11. 岩谷 誠久 | 19. 清水 健二 |
| 4. 瀬井 徳司 | 12. 木村 光治 | 20. 坂本 佳子 |
| 5. 高砂 晴光 | 13. 表 泰憲 | 21. 中島 清 |
| 6. 若林 節子 | 14. 吉山 絹代 | 22. 和田 信隆 |
| 7. 石増 敏枝 | 15. 出原 幸也 | 24. 鈴木 正三 |
| | 16. 辰巳 義男 | 25. 岡 俊三 |



26



27



41



37

- 26. 宮奥 久吉
- 27. 藤崎 洋子
- 29. 稲垣 知津
- 31. 磯野 裕美
- 33. 中嶋 光
- 35. 福島 知
- 36. 東 みどり
- 37. 芳村 章雄
- 38. 西田 瑞代 (奈良芸術短期大学)
- 39. 飯田 直樹 (奈良芸術短期大学)
- 40. 中村 明子 (奈良芸術短期大学)

- 41. 川本 和秀 (奈良県立高円高等学校)
- 42. 青山ひかり (奈良県立高円高等学校)
- 43. 織田真優美 (奈良県立高円高等学校)
- 44. 池田由里菜 (奈良県立高円高等学校)
- 45. 北村 なな (奈良県立高円高等学校)
- 46. 山村 晃弘 (たんぼぼの家アートセンター HANA)
- 47. 杉村 仁
- 48. うらはままさひこ
- 49. 関西文化芸術学院 高等課程 クラフト陶芸専攻及び、1～3年生の生徒及び、専門学校 関西文化芸術学院芸術総合学科の学生



5



31



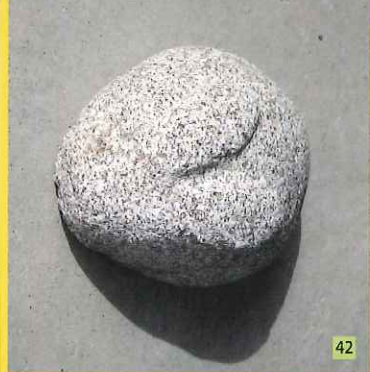
38



39



33



42



10



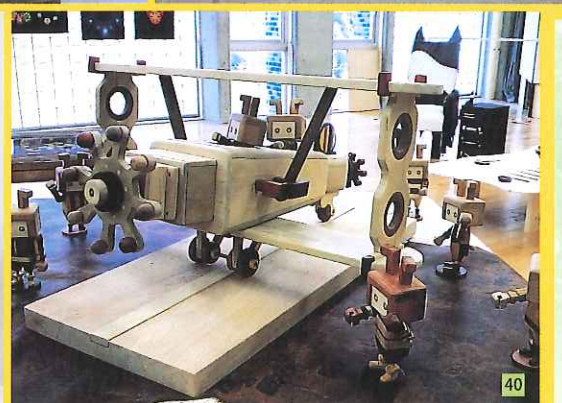
44



45



46



40



奈良県文化会館
副館長 山口 恵美

奈良県文化会館において、「第5回燈花と芸術の森」を盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

この事業は、本館を舞台に、文化芸術を愛し創作する人々にとって新たな作品発表の場をつくり出すとともに、人が集い楽しむ場となることをめざすものです。

「なら燈花会」の期間中[8月5日(日)~14日(火)]に、前庭・つどいの広場や2階情報コーナーにおいて、県内美術系学校の生徒をはじめ先生や作家の方々が制作した彫刻、燈火器、オブジェ等の作品を展示し、夜はろうそくのやさしい灯りで作品を照らし出して、風情豊かで幻想的な光景が創出されます。

県立高円高等学校並びに関西文化芸術学院の生徒の皆さんまた奈良芸術短期大学学生の皆さんには、作品の制作に熱心に取り組んでいただきましたことに敬意を表しますとともに、この発表を励みとして、なお一層、研鑽を積まれることを期待しています。

また、ご指導をいただきました先生方をはじめ学校関係者の皆様方、素晴らしい作品をご出品いただきました作家の皆様方、さらにはご支援・ご協力をいただきました「奈良西ロータリークラブ」、「なら燈花会の会」の皆様方など、多くの関係の方々に深く感謝申し上げます。

今回の取り組みを契機として、本県の特徴を活かした文化芸術の推進にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



奈良県立高円高等学校
校長 上田 泰行

「燈花と芸術の森」の催しも本年度で5回目を迎え、奈良の風物詩として定着しつつあります。

高円高校では、第1回から参加し、展覧会のプランニングや作品の陳列、搬出作業等のお手伝いをさせていただいています。今回、5名の生徒作品を出品します。展覧会とおし、社会人の方や文化会館関係者、また、美術作家の方等と交流することができ、生徒にとって、社会と美術の関わりを学ぶ貴重な機会となっています。

一人でも多くの方に、ご来場いただき、楽しんでいただければ、生徒への何よりの励みになると思います。ぜひ、お立ち寄りください。そして、お楽しみください。

関西文化芸術学院 校長 大橋 英夫

「燈花と芸術の森」といえば、古都奈良の夏の風物詩であり、心を癒してくれる優しいろうそくの灯りが思い浮かびます。

そのような「燈花と芸術の森」に私共、関西文化芸術学院のクラフト陶芸専攻の生徒たちが参加できることを大変光栄に思います。生徒たちはこの日のために授業課題の傍ら自分の思いを表現するランプシェードを制作してきました。関西文化芸術学院の心優しい生徒たちが思いを込めた作品が来場される皆様の心を癒してくれることと思います。

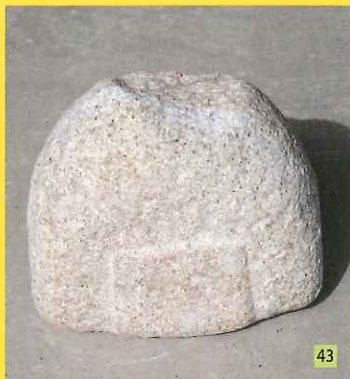
生徒たちが作品を発表する機会を頂いたことに感謝するとともに、この「燈花と芸術の森」がこれからもより発展することを願っています。

奈良芸術短期大学 学長 平田 博也

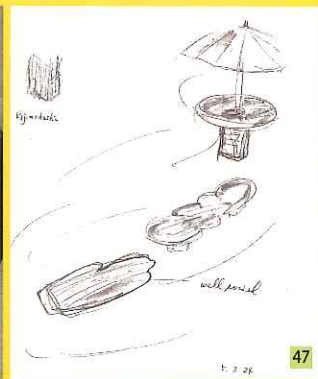
今回で5回目を迎えます「燈花と芸術の森」に県内唯一の美術科のある大学として本学学生が参加する事が出来たことに、感謝しています。

歴史ある奈良の地で、新しい芸術を生み出し、また古き伝統文化との融合によって、益々活発に多くの人々に芸術を発信出来るよう頑張っていきたいと思っています。

ご来場いただいた皆様には、ゆっくりと作品をご観覧いただき、ご支援とご批評を頂ければ幸いです。



43



47



24

